

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

* 本体裏面に記載されているシリアル番号(S/No.)と装置IDを必ずご記入し、本書を大切に保管してください。

品番

TY-TVPL-10

* S/No.

* 装置ID番号

お買い上げ日

年 月 日

※お買い上げ年月日の記載がない場合、無償修理規定外となります。

保証期間

お買い上げの日より1年

お名前

様

お客様

ご住所

TEL.()

販売店

店名・住所

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

【緊急地震速報音声ガイダンス表】		
地震の揺れ開始 30秒以上前	電子音『チャリン』 + 『地震が発生しました。』 30秒前となった時点で、 「10～30秒前」のガイダンスに切り替わります。	最大3回 繰り返します。
地震の揺れ開始 30秒前～10秒	電子音『チャリン』 + 『まもなく地震がきます。』 10秒前となった時点で、 「0～10秒前」のガイダンスに切り替わります。	最大3回 繰り返します。
地震の揺れ開始 10秒前～0秒	電子音『チャリン』 + 『すぐに地震がきます。』	地震到達予想時刻まで 繰り返します。
音声ガイダンスが流れ始める、または『チャリン』と電子音が鳴ったら、すぐに身の安全を確保してください。		

Takusu-V

Plus

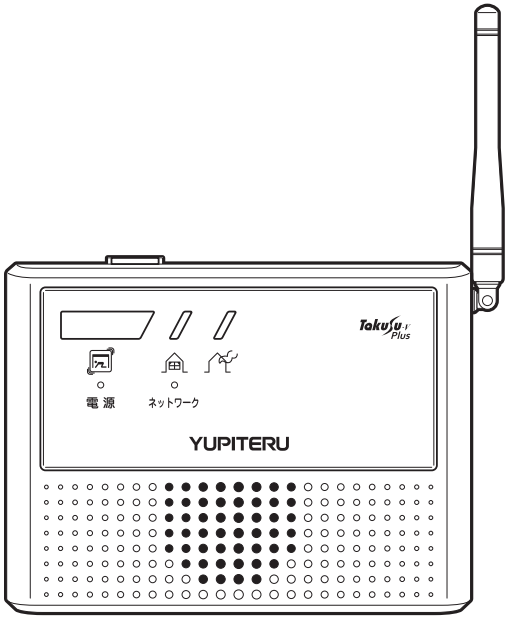
TY-TVPL-10

高度利用者向け

—緊急地震速報(予報)受信システム—

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
Takusu-V Plusは、高度利用向け緊急地震速報(予報)をもとに、地震が来る前に
＜音声ガイダンス＞でお知らせするシステムです。



- ・本製品および本書を含む同梱物は改良のため予告なく変更することがあります。
- ・本製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。
- ・本製品の使用中に生じた、人命、財産などのいかなる損害に対しても、弊社および関連企業は一切責任を負いかねます。

最初に必ずお読みください.....	3
安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	6
気象庁緊急地震速報ご提供に関する確認事項.....	6
無線機器について.....	6
ご使用の前に.....	7
お申し込み等について.....	7
緊急コールサービス.....	7
サービス利用にあたって.....	7
高度利用者向け緊急地震速報とは.....	7
お申し込み手続きの流れ.....	8
使用環境について.....	9
Takusu-V Plusの機能.....	10
緊急地震速報受信システム.....	10
緊急コールサービス(オプション).....	10
避難訓練機能.....	11
各部の名称と働き.....	12
本体.....	12
付属品.....	13
専用別売品.....	13

設置について.....	14
設置方法.....	14
配線方法.....	15
使用方法.....	16
本体で「緊急地震速報」を受信する.....	16
キャンセル報.....	17
事後報知.....	17
訓練報.....	17
コールボタン2を使用する(専用別売品).....	18
コールボタン2(専用別売品)を追加する..	18
コールボタン2の電池について.....	19
緊急コールの使用方法.....	20
呼出コールの使用方法.....	21
ID消去操作.....	22
子機を使用する(専用別売品).....	23
子機(専用別売品)を追加する.....	23
子機の音声ガイダンスと変更方法.....	24
子機のID登録を消去する.....	25
ルータを設定する.....	26
仕様.....	27
故障かなと思ったら.....	28
ご使用に関するQ&A.....	30
緊急地震速報についてのお問い合わせ.....	31
免責事項.....	31
緊急地震速報利用申込兼登録用紙(個別契約書)	
ご記入例.....	32
アフターサービスについて.....	35
保証書.....	裏表紙
緊急地震速報音声ガイダンス表.....	裏表紙

●箱の中身をご確認ください。箱の中には下記のものが入っています。

＜付属品＞

- Takusu-V Plus(本体)
- ACアダプター
- LANケーブル
- 卓上スタンド
- 壁掛けホルダー
- 取付用ネジ
- Takusu-V Plus取扱説明書・保証書(本書)

＜付属書類＞

- 緊急地震速報利用申込兼登録用紙
(必要事項をご記入、ご捺印のうえご郵送ください)
- 利用料金引落としの流れ
- 預金口座振替依頼書
(必要事項をご記入、ご捺印のうえご郵送ください)
- 気象庁・高度利用者向け緊急地震速報の情報提供に関する確認事項
- ご利用規約
- 返信用封筒(切手不要)

●上記、同梱物のうち下記の書類に必要事項をご記入、ご捺印のうえ、返信用封筒にて郵送してください。

- 緊急地震速報利用申込兼登録用紙
- 預金口座振替依頼書

Takusu-V Plusは、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー社の提供するデータを使用して緊急地震速報をお知らせします。
緊急地震速報をご利用いただくには、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー社へのお申込みが必要です。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

- ⚠警告：**警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡したり重傷を負う可能性があります。
- ⚠注意：**注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- ⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- 🚫 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- ❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

Takusu-V Plus

⚠警告

- 🚫 機器を分解しない…火災・感電の原因になります。
- ❗ 仕様に記載された電源電圧以外の電源を使用しない…火災・感電・故障の原因になります。
- ⚠ 万が一、機器が発熱していたり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が見つかった場合は、すぐに電源を抜いてご使用を中止する…そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- 🚫 機器を液体(水・ジュース・アルコール・薬品等)で濡らさない…火災・故障の原因になります。
- ❗ 機器の上に物を置いたり、布などで覆わない…火災・故障の原因になります。

⚠注意

- 🚫 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない…故障・ケガの原因になります。
- 🚫 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、本機を入れないでください。
- ❗ 本体・子機(オプション)を、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かない…落下して、ケガや故障の原因になります。
- ❗ 直射日光の強い場所や、炎天下など高温の場所で使用、放置しない…機器の変形や故障の原因になります。
- ⚠ 停電やインターネット網に障害が発生した場合、サービスがご利用になれない場合があります。
- ⚠ 住戸内の電波状況や天候等により、サービスがご利用になれない場合があります。
- 🚫 ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かない…本機を傷めます。

ACアダプター

⚠注意

- ❗ ACアダプターやプラグを破壊するようなことはしない…傷つけたり、加工したり、過熱機に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せないでください。
- 🚫 AC100V以外では使用しない…家庭用電源(AC100V)以外のコンセントに接続すると、発火や感電、故障の原因となります。
- ❗ ACアダプターはコンセントに根元まで確実に差し込む…差し込み部分の刃に金属が触れると、火災や感電の原因になります。
- 🚫 傷んだりゆるんだACアダプターは使用しない…そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 🚫 水を付けたり、水をかけない…感電の原因となります。
- 🚫 タコ足配線はしない…異常加熱や発火の原因となります。
- 🚫 風呂場などで使用しない、また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない…感電の原因になります。

使用上のご注意

気象庁緊急地震速報ご提供に関する確認事項

- 緊急地震速報の情報が配信されるのは、基本的に設置場所における予測震度が震度4(設定震度)以上の場合です。(震度の変更を希望される場合は、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティ コールセンターへご相談ください。)
- 以下のような場合は、的確な情報が提供できない場合があります。
 - ・ 震源直上やその周辺で、情報の提供が主要動の到達に間に合わないとき。
 - ・ 深発地震、複数同時地震が発生した場合。
 - ・ 落雷などにより地震発生として誤報が発信されるとき。
- 通信機などのメンテナンスのために、一時的に情報提供を中断している際に、その観測点の近傍で地震が発生した場合は、情報の提供が遅れたり、その精度が低くなる場合があります。

以上、緊急地震速報の特性および確認事項をご理解いただき、災害から財産・生命を守りましょう。

無線機器について

本機は、小電力無線機器です。無線電波の特性をよくご理解のうえ、ご使用ください。

- 設置場所では、あらかじめ動作確認を行ってください。
- 設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。
- 本体、コールボタン2、子機の設置場所を変更する場合は、あらかじめ動作確認を行ってください。
- 電波の到達距離は、次のような使用場所の環境によって短くなったり、電波が届かなくなることがあります。
 - ・ 本体、コールボタン2、子機の間に、金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある場合。
 - ・ 壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している場合。
 - ・ スチールキャビネットの間や、カラオケボックスなど、周辺が金属物で囲まれるような場所に置いた場合。
 - ・ テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局が近くにある場合。
 - ・ 近くで携帯電話やPHS電話を使用している場合。
 - ・ 近くで、直流電圧で駆動するベルやモータなどの機器が動作している場合。
 - ・ 本体、子機をパソコン、ルータ等の情報／通信機器、無線LAN、コードレス電話等の電波を送信する機器の近くに設置した場合。
- 到達範囲内でも、電波が弱くなる場所がありますので、注意してください。
- 通信網の障害で、情報が受信できない場合があります。
- 気象庁はじめ情報提供関係者は、データの正確性には万全を期しますが、緊急地震速報に関して発生するあらゆる損害について、一切責任を負いません。
- 緊急地震速報の提供するデータの全部または一部を利用できないことによって発生する損害に対し、いかなる責任も負いません。
- 緊急地震速報の情報を提供するにあたって、別途ご利用契約に基づき毎月の情報配信料をお支払いいただきます。
- 気象庁の緊急地震速報の先行的な提供においては、諸事情によって情報の提供中止、変更事項が発生しても異議を申し出ないこととします。
- マイクロ波治療器の近く(約10m以内)では動作しません。
- 本体、コールボタン2、子機の配線と、AC100V機器および電源線とは、20cm以上離して設置してください。離さないと、正常に動作しない場合があります。
- 本体、コールボタン2、子機は50cm以上離してご使用ください。近すぎると動作しない場合があります。
- 電波(ノイズ)を受けると、誤作動や動作しない原因となることがあります。
- 落としたり、過度の衝撃が加わると、故障の原因になります。
- 別売センサやコールボタン2、子機は、必ずID登録を行ってください。
- 送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全のために本体、コールボタン2、子機は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。
- 本体、コールボタン2、子機は、総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けられている表示(マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている製品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。改造すると、法律により罰せられることがあります。

ご使用の前に

お申し込み等について

本機のご使用にあたっては、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティ社へのご利用申し込みが必要です。(➡ 32 ページ)

また、インターネット常時接続環境とUPnP対応のルータが必要です。

メモ

- ・ インターネットサービスの契約は、お客様ご自身でお願いいたします。
- ・ プロバイダの指定はありませんが、必ずルータとの接続が必要です。インターネットサービスプロバイダがルータ設置を許可しているかご確認ください。
- ・ ADSL、CATV、FTTHでは、事業者様により使用機器(モデム、ルータ等)が決まっている場合、複数台接続時の契約や使用機器が異なる場合等がありますので、あらかじめご確認ください。

緊急コールサービス

緊急コールサービスを使用したメール通知サービスをご利用いただける携帯電話は、各携帯電話会社のメール機能を有する機種に限りますので、ご利用の際は事前にご確認ください。(詳しくは ➡ 10 ページをご覧ください)

メモ

- ・ 携帯電話の契約費用、事務手数料、月額通信費用(パケット通信費用を含む)は、お客様のご負担となります。
- ・ 本機能をご使用いただくには、利用申込兼登録用紙の緊急コールをお申込みいただく必要があります。緊急地震速報受信サービス開始後、新たに緊急コールサービスを追加される場合は、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティ社のコールセンターへご連絡いただきますようお願い申し上げます。

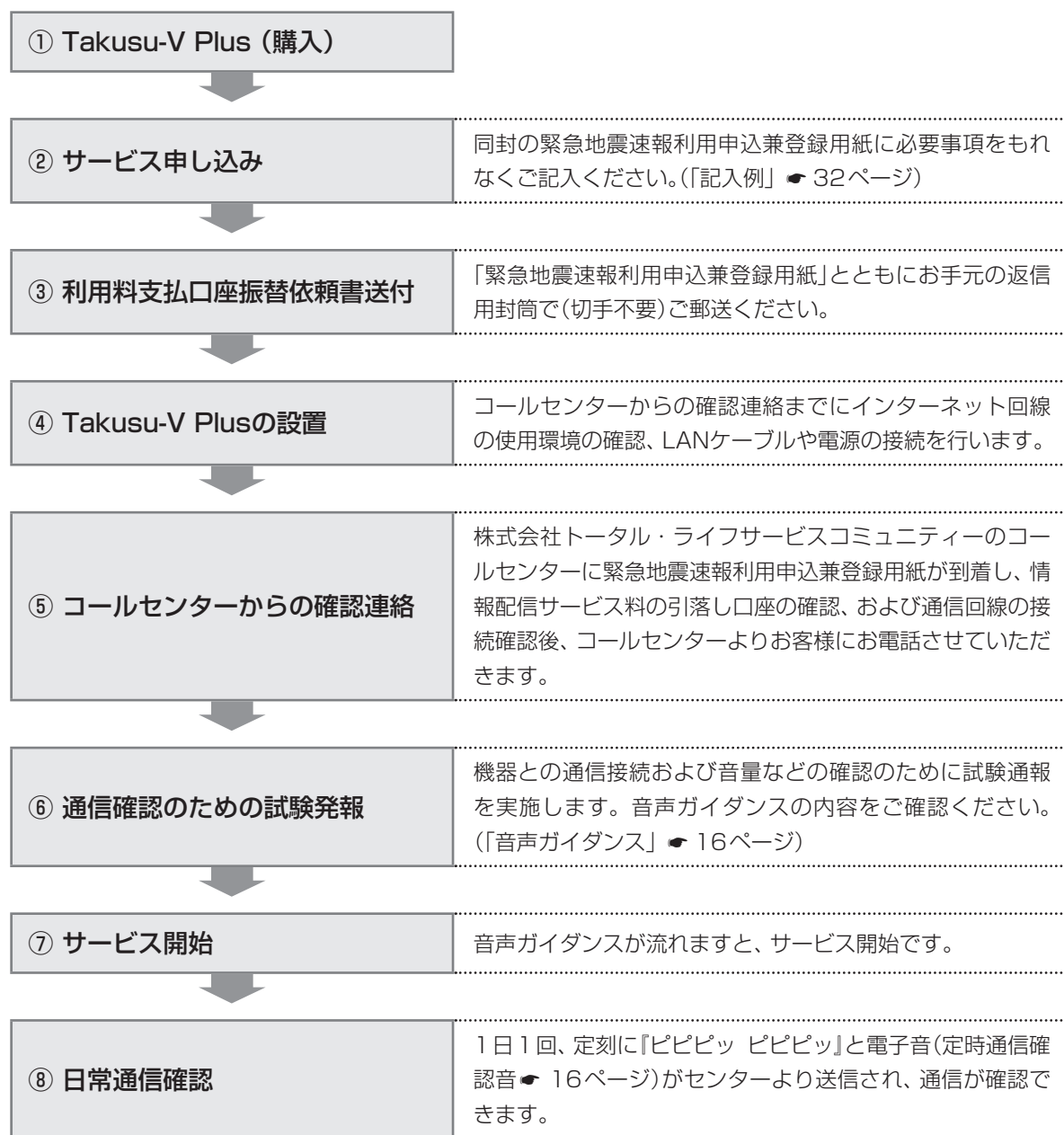
サービス利用にあたって

ネットワーク機器・携帯電話端末の障害、インターネットサービスや携帯電話会社の通信サービスの障害または回線不通等や通信手段の障害等、弊社の責によらない原因により本サービスの提供が遅延したり不能となった場合、あるいは送信手段に誤謬、脱落等が発生した場合、その損害について弊社および関連企業は一切の責任を負いません。

高度利用者向け緊急地震速報とは

お客様がお住まいの地域(Takusu-V Plus設置場所)の地殻(硬い/柔らかい地層)など、複雑な要素を加味した、お客様個々に向けたサービスです。テレビやラジオで発信される「一般向け緊急地震速報」に比べ、情報が速く、信頼性の高い情報として地方公共団体や鉄道事業者、電力、ガス各社でも利用されています。

お申し込み手続きの流れ



⚠注意

本システムは、人命や、地震による損害を未然に、または完全に保護するものではありません。あくまでもそれらの補助的なシステムです。万が一本システムの稼働中に人命、財産等に対していかなる損害が生じても、弊社および関連企業は一切の責任を負いかねます。

使用環境について

Takusu-V Plusは、ADSLまたは光ファイバーやCATV回線など、インターネットが常時接続されている環境で使用が可能です。

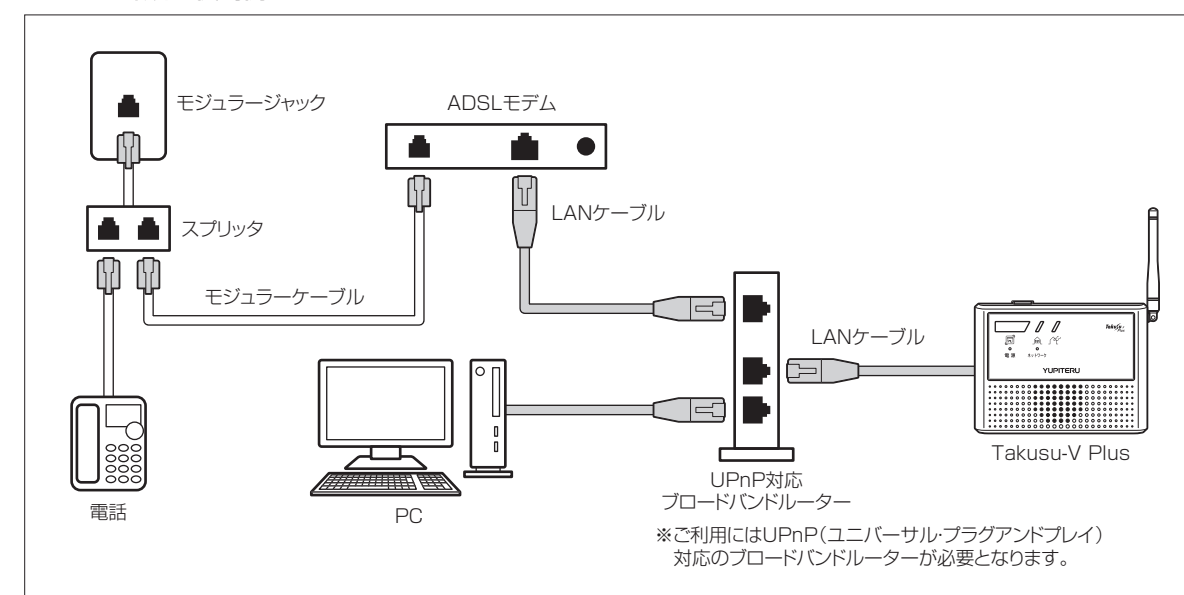
お客様がご利用されているインターネット接続サービスで、複数のインターネット接続ができることを確認してください。またルータは、UPnP機能が有効であること、DHCPサービスが有効であることを確認してください。

メモ

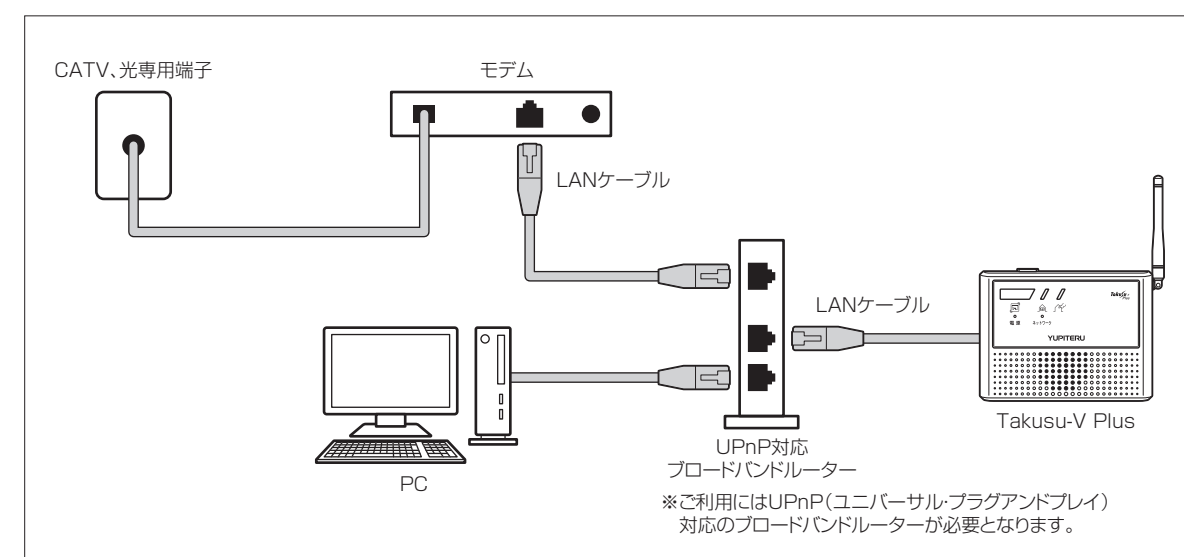
- お客様がご利用されているインターネット接続サービスで、複数のコンピュータを接続できることをご確認ください。ご使用中のコンピュータ1台からのみインターネット接続できる環境では、Takusu-V Plusはご利用いただけません。

取付概要図

● ADSL環境の使用例

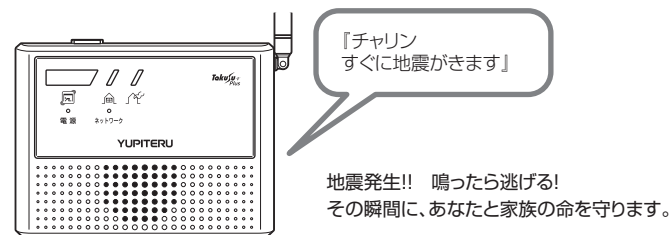


● CATV、光ファイバー環境での使用例



緊急地震速報受信システム（システム利用料：月525円 税込）

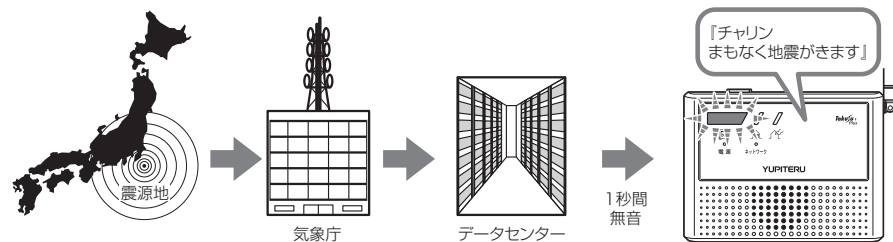
本体を使って、気象庁配信の緊急地震速報をインターネット経由で受信し、音声ガイダンスによりお知らせすることができます。



緊急地震速報とは

日本全国に配置された震度計のいずれかが地震の初期微動(P波)を検知すると、気象庁が瞬時に地震の発生した位置と大きさを推定して配信する情報を基にして、本機は、設置された場所における地震の震度と主要動(S波)の到達予測時間を計算して、一定の震度以上で到達予測時間が1秒以上の場合に、音声でお知らせします。これにより、主要動が到達する前に身の安全を確保する行動をとることができます。

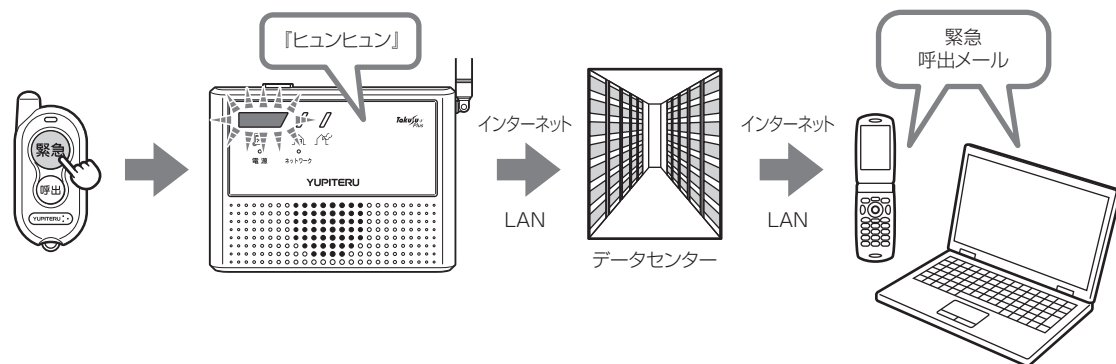
で注意 地震の発生場所が直下型の場合や、震源が近い場合には音声ガイダンスが間に合わない場合があります。また、停電が発生した場合、インターネット回線の状態によっては音声ガイダンスが流れない場合があります。



サービスの提供は予報業務許可事業者：株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー 気民第125号・許可第97号(地震動第1号)より配信されます。

緊急コールサービス（オプション：別額 月1050円 税込）

コールボタン2による緊急コールや拡張専用別売品による異常検出時に、あらかじめ登録している携帯電話やパソコンのEメールアドレスにメールを送信し、外出先から異常の発生を確認できます。

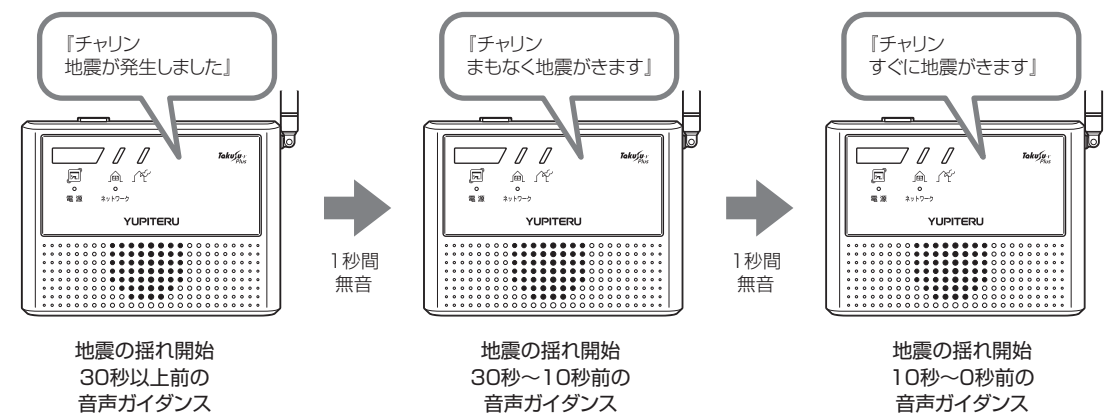


メモ

- 本機のご使用にあたっては、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティーへの利用申し込みが必要です。また常時接続のインターネット環境とUPnP(ユニバーサルプラグアンドプレイ)対応のルータが必要です。詳しくは、以下の株式会社トータル・ライフサービスコミュニティーホームページをご覧ください。
<http://www.totalife.co.jp/takusu/index.htm>

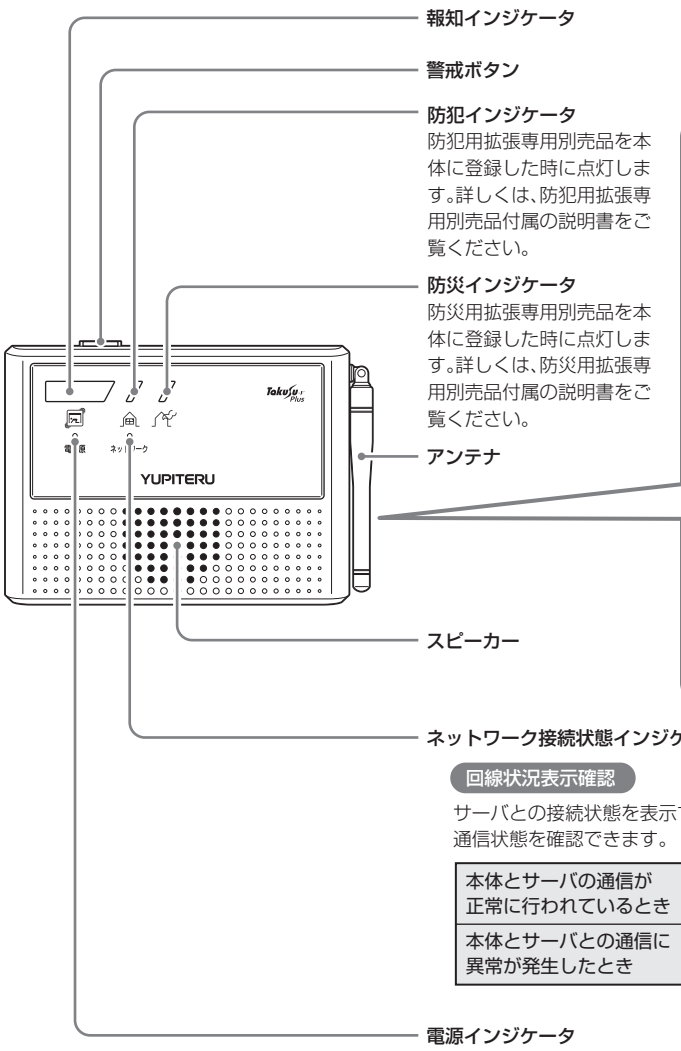
避難訓練機能

本体側面の[避難訓練]ボタンを押すと、緊急地震速報の音声ガイダンスが流れます。日ごろの訓練のために役立ってます。



本体

● 前面

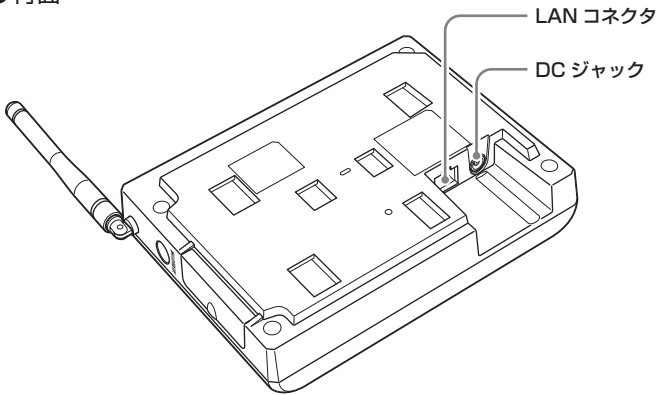


回線状況表示確認

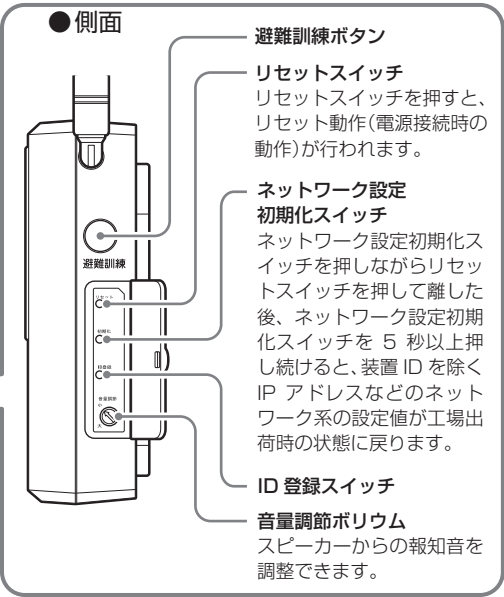
サーバとの接続状態を表示するネットワーク接続状態インジケータで通信状態を確認できます。

本体とサーバの通信が正常に行われているとき	ネットワーク接続状態インジケータは緑色で点灯します。
本体とサーバとの通信に異常が発生したとき	ネットワーク接続状態インジケータが緑色で点滅します。

● 背面

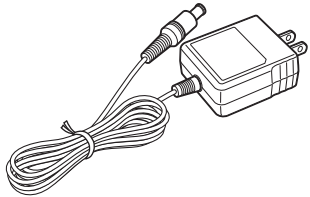


● 側面

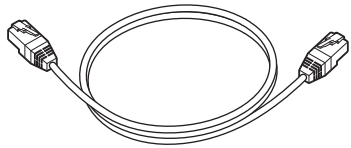


付属品

● ACアダプター……1



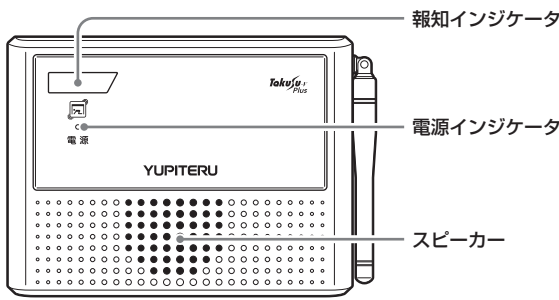
● LANケーブル(2m)……1



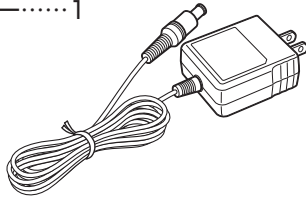
- 卓上スタンド……1
- 卓上スタンド取付用ネジ (M2.6 ϕ $\times$ 12)……1
- 壁掛けホルダー……1
- 壁掛けホルダー取付用ネジ (木ネジ 3.5 ϕ $\times$ 20)……4
- 取扱説明書・保証書(本書)……1

専用別売品

● 子機(TY-TVPL-1)

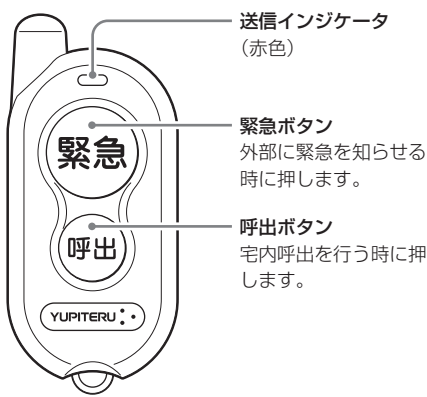


・ ACアダプター……1



- ・ 卓上スタンド……1
- ・ 卓上スタンド取付用ネジ (M2.6 ϕ $\times$ 12)……1
- ・ 壁掛けホルダー……1
- ・ 壁掛けホルダー取付用ネジ (木ネジ 3.5 ϕ $\times$ 20)……4

● コールボタン2(TY-TVPB-2-YP)



※上記機器や付属品の仕様等は、予告なく変更になる場合があります。

設置方法

本機は卓上に設置または、壁に掛けてご使用いただけます。

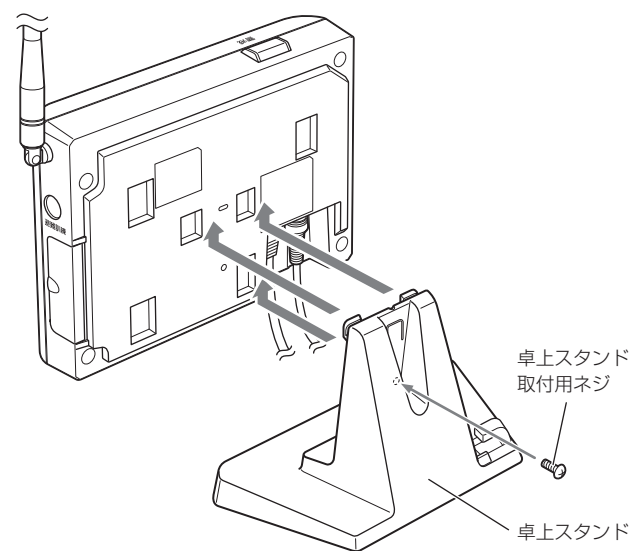
本機を設置する前に、あらかじめACアダプター、LANケーブルを接続してください。〔配線方法〕▶ 15ページ)

卓上スタンドや壁掛けホルダーを取り付けるとACアダプターやLANケーブルの接続ができなくなります。

メモ

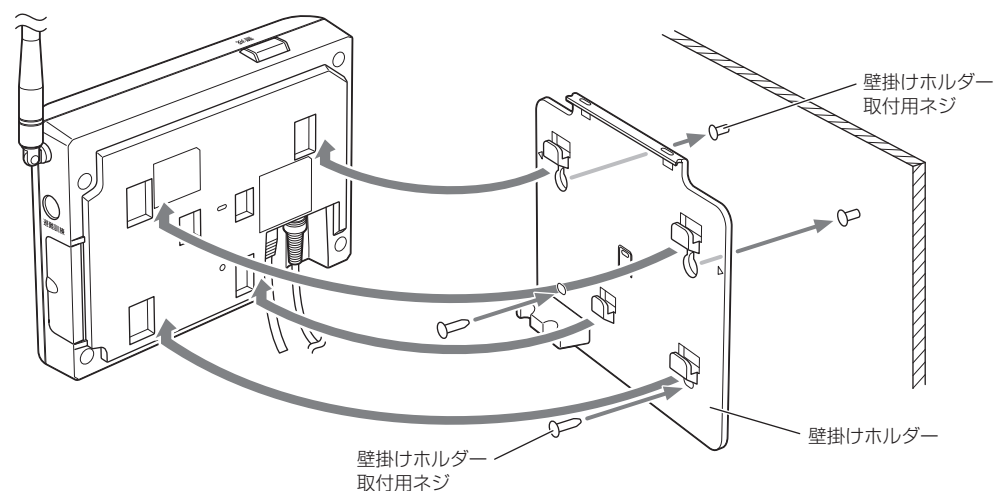
- 必ず付属のACアダプターをご使用ください。
- ACアダプターはコンセントに根元まで差し込み、配線が引っかからないようにしてください。

卓上に設置する場合



壁面に設置する場合

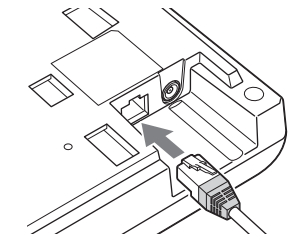
土壁や石こうボードにネジ止めしないでください。脱落する恐れがあります。



配線方法

本体にLANケーブル、ACアダプターを接続してください。

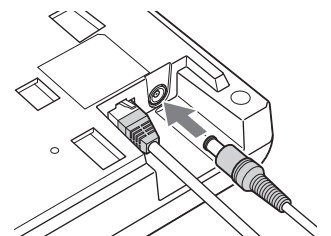
- ① 付属のLANケーブルを本体背面のLANコネクタに、『カチッ』と音がするまで、しっかりと差し込む
- ② LANケーブルの反対側を、ルーターに『カチッ』と音がするまで、しっかりと差し込む



- ③ 付属のACアダプターを本体背面のDCジャックに差し込む

電源がONになります。

電源ONになると、本機正面の電源インジケータが点灯します。また『ピー』という電子音が鳴り、報知インジケータ、防犯インジケータ、防災インジケータが1回点灯します。



メモ

- 本機は専用別売品(コールボタン2や子機など)と無線電波で通信を行いますので、電波が通りにくい金属で囲まれた場所(情報ボックス盤内など)や金属壁の近傍は避けてください。
- 本機のスピーカーから緊急地震速報の音声ガイダンスを流しますので、スピーカーを塞ぐことや、聞こえにくい場所への設置は避けてください。
- 本体や子機(専用別売品)はパソコン、ルーター等の情報/通信機器、無線LAN、コードレス電話等の電波を送信する機器からはできるだけ離して設置してください。設置距離が近い場合、Takusu-V Plus各機器間の電波の到達距離が短くなったり、電波が届かなくなることがあります。

本体で「緊急地震速報」を受信する

本機のご使用にあたっては、お申し込みが必要です。(➡ 32 ページ)

■準備する

緊急地震速報利用申込兼登録用紙を郵送し、本体の接続を行います。

① インターネット回線の利用環境を確認する

② 電源を接続する

Takusu-V Plus本体にLANケーブル、ACアダプターを接続してください。

③ 音量を設定する

本体側面の音量調整ボリュームで調整してください。

* 避難訓練機能(➡ 11 ページ)を使用して音量を調整してください。

■コールセンターからの確認

コールセンターでの確認が完了すると、通信確認のため試験発報が実施されます。

音声ガイダンスが流れると、サービス開始です。

* 音声ガイダンスが流れない場合、ルータの設定を確認してください。(➡ 26 ページ)

以上の作業で、「緊急地震速報」を受信できます。

本機の動作は、毎日の定時通信確認音で確認してください。

メモ

●定時通信確認音について

本機には、1 日に 1 回、緊急地震速報とは別に、一定時刻に『ピピピピピッ』という電子音を発する信号が送信されてきます。この電子音が送信されることによって、データセンターサーバとの通信が正常に行われていることを電子音で確認できます。

* お申込時(緊急地震速報利用申込兼登録用紙)に時刻を設定できます。

* 定時通信確認音は、Takusu-V Plus本体のみ鳴ります。

●地震が発生した場合

下記の音声ガイダンスでお知らせします。

万が一、緊急地震速報を受信したときには、以下のような音声ガイダンスが流れるとともに、報知インジケータが 20 秒間点滅します。

音声ガイダンスが流れ始める、または『チャリン』と電子音が鳴ったら、すぐに身の安全を確保してください。

●音声ガイダンス

地震の揺れ開始音	音声ガイダンス	報知回数
30 秒以上前	電子音『チャリン』 +『地震が発生しました。』	最大 3 回繰り返します。
↓		
30 秒前 ～ 10 秒	電子音『チャリン』 +『まもなく地震がきます。』	最大 3 回繰り返します。
↓		
10 秒前 ～ 0 秒	電子音『チャリン』 +『すぐに地震がきます。』	地震到達予想時刻まで、繰り返します。

Takusu-V Plusは緊急地震速報の状況により、次のような報知動作を行います。

●キャンセル報

緊急地震速報報知後、その報知が誤報だと気象庁が判断した場合、音声ガイダンスでお知らせします。

機能名	Takusu-V Plus本体の音声ガイダンス	Takusu-V Plus子機の音声ガイダンス
キャンセル報	緊急地震速報の音声ガイダンス後、音声ガイダンス『地震発生は誤報と判断されました』	キャンセル報のガイダンスは鳴りません。

●事後報知

震源地が近いなど、緊急地震速報が地震到達までに間に合わないと判断された場合、緊急地震速報が間に合わないことを電子音でお知らせします。

事後報知は、地震到達予想時刻から 20 秒後までであれば、報知が行われます。20 秒経過後は事後報知されません。

機能名	Takusu-V Plus本体の音声ガイダンス	Takusu-V Plus子機の音声ガイダンス
事後報知	電子音『チャリン』(3 回繰り返す)	事後報知のガイダンスは鳴りません。

●訓練報

気象庁主催で 1 年に 1 回程度、気象庁から地震速報の訓練報知が行われます。

訓練報の実施日時については、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティよりお客様に連絡させていただきます。

機能名	Takusu-V Plus本体の音声ガイダンス	Takusu-V Plus子機の音声ガイダンス
訓練報	『訓練チャリンまもなく地震がきます…… 訓練チャリンまもなく地震がきます…… 訓練チャリンすぐに地震がきます…… 訓練チャリンすぐに地震がきます…… ガラガラガシャン(物が壊れる音)』	ユーザーが設定した地震報知音 (設定方法は ➡ 24 ページをご覧ください)

* 訓練報をご利用される場合は、緊急地震速報利用申込兼登録用紙の「訓練報を受信する」をご記入ください。

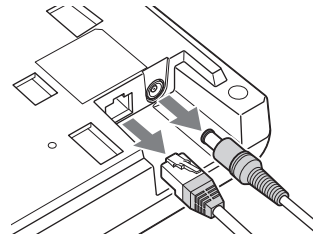
緊急地震速報や訓練報は、緊急コールサービスによるメール通知はされません。

コールボタン2(専用別売品)を追加する

ご使用されるコールボタン2を、Takusu-V Plus本体に認識させるため、IDの登録を行う必要があります。次の手順で登録を行ってください。

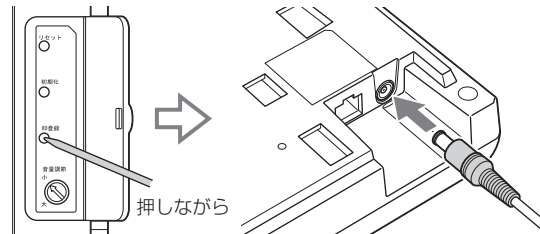
* 本体には子機を除きコールボタン2、防犯用拡張専用別売品、防災用拡張専用別売品を合わせて最大17台まで登録できます。

① ACアダプターとLANケーブルを、本体背面端子から外す



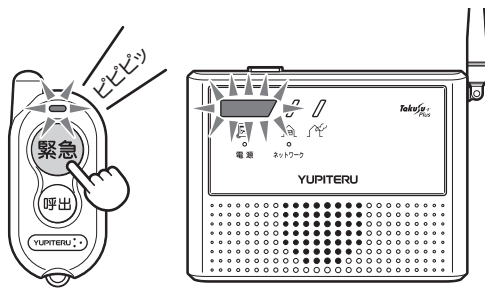
② 本体の右側面(フタ内一番下のスイッチ穴)のID登録スイッチを、つまようじなど先の細いもので押しながらACアダプターをDCジャックに差し込む

報知インジケータが点滅して、ID登録モードになります。



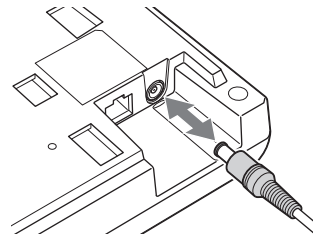
③ ID登録をするコールボタン2の[緊急]ボタンを6秒以上押す

コールボタン2が『ピピピッ』と鳴り、送信インジケータが点灯し、その後しばらくして本体の報知インジケータが2秒間点灯します。



④ 本体からACアダプターを抜き、再度ACアダプターを差し込む

本体が『ピー』と鳴り、電源インジケータが点灯、報知インジケータ、防犯インジケータ、防災インジケータが1.5秒間点灯して、ID登録モードが解除されます。



⑤ LANケーブルを接続する

メモ

- 複数のコールボタン2をご使用になる場合は、1個ずつ順にすべてのIDを登録してください。
- ID登録の操作を、近距離(同じ建物内など)で複数同時に行わないでください。誤ったIDが登録される可能性があります。
- 緊急コールサービスをご利用の場合、操作ミスによる誤報知を防ぐため、LANケーブルは抜いて操作してください。
- すでに17台のID登録がされている場合は、報知インジケータ、防犯インジケータ、防災インジケータのすべてが赤色で早い点滅を2秒間行い、登録超過をお知らせします。
- 同じIDを再度登録しようとした場合は、報知インジケータが赤色で早い点滅を2秒間行い、ID多重登録をお知らせします。

コールボタン2の電池について

コールボタン2は、ローバッテリー状態になると光と音でお知らせします。以下の動作を表示した場合、電池の交換時期が近づいています。お早めに電池を交換してください。

■電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池(CR2032 2個)と交換してください。

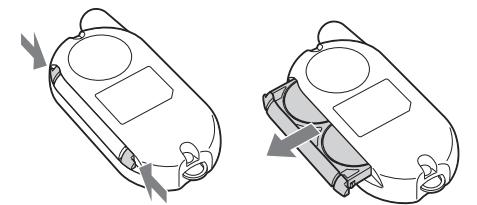
■電池の交換時期について

- コールボタン2の[緊急]ボタン、または[呼出]ボタンを操作したときの送信インジケータの点灯パターンが連続点灯から点滅に変わります。
- 送信インジケータの点滅後、ローバッテリー状態アラーム『ピピピピッ』が鳴ります。

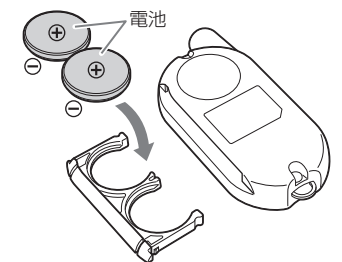


■電池の交換

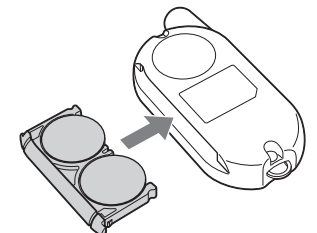
① バッテリーケースの両端を押しながら、バッテリーケースを引き出す



② 電池(CR2032)2個を入れる 電池の極性に注意してください。



③ バッテリーケースを『カチッ』と音がするまで差し込む



ご注意

- 電池の寿命は使用する条件によって異なります。
- 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。
- 交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。

緊急コールの使用方法

■緊急コールを鳴らす

コールボタン2の[緊急]ボタンを押して、外部に緊急事態を知らせることができます。

コールボタン2の「緊急」ボタンを1秒以上押し続ける

コールボタン2の送信インジケータが点灯し、『ピッピピッ』と鳴るまで押し続けてください。

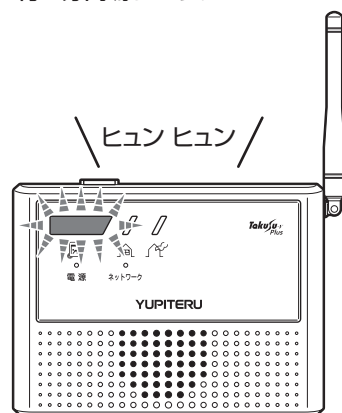


緊急コールにより以下のように動作します。

- コールボタン2はボタン操作後、『ピッ』と1回鳴ります。



- 本体は、『ヒュンヒュン』と大きな音が鳴り始め、報知インジケータが点滅します。報知音は約1分間鳴ります。



<緊急コールサービスをご利用されている場合>

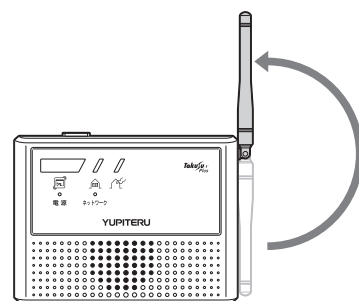
- コールセンターより登録している携帯電話やパソコンのメールアドレスに、メールが送信されます。

メール本文は利用申込用紙に登録した電文となります。

* 緊急コールサービスの利用申込が必要です



- 子機(専用別売品)も、『ヒュンヒュン』と大きな音が鳴り始め、報知インジケータが点滅します。子機の報知音も約1分間鳴ります。



メモ

- コールボタン2と本体は無線で通信しますので、本体のアンテナは常にほぼ垂直の状態にしたままご使用ください。(距離やノイズの影響で電波が届かないこともあります)
- 緊急コールサービスは、ネットワークを通して送信しますので、LANケーブルのコネクタが抜けているときには送信できません。
- 設置場所を変更したときには、次の手順で動作確認を行ってください。
 - ①本体のLANケーブルを抜く
 - ②コールボタン2の[緊急]ボタンを押す
 このとき上記「緊急コールを鳴らす」と同じように動作すれば正常に動作しています。(LANケーブルを接続したまま動作確認をすると、登録してあるアドレスにメールが送信されます。)
- コールボタン2から、再度緊急信号を送信するには、一度[緊急]ボタンから指を離し、再度ボタンを押してください。コールボタン2の送信インジケータが点灯している間は、再操作を受け付けません。連続して操作を行う場合は、送信インジケータが消灯してから操作してください。

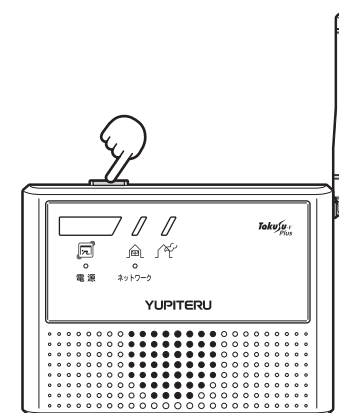
■緊急コールの止めかた

本体の[警戒]ボタンを押す

警報音が止まり、報知インジケータが点滅から消灯になります。

メモ

- 緊急コール動作を解除しても、緊急コールサービスのメール送信はキャンセルされません。



呼出コールの使用方法

家の中のご家族に、光と音で呼出をお知らせします。

コールボタン2の[呼出]ボタンを1秒以上押す

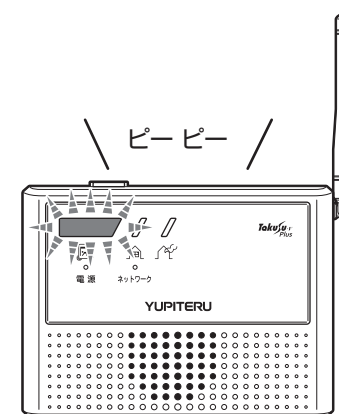
コールボタン2の送信インジケータが点滅して『ピッピピッ』と鳴るまで押し続けてください。



呼出コールにより以下のように動作します。

- 本体は、『ピーピー』とアラーム音が鳴り始め、報知インジケータが点滅します。呼出コールは約10秒後に止まります。再度、呼出コールを鳴らすときは、コールボタン2の[呼出]ボタンを1秒以上押してください。

- 子機(専用別売品)も、『ピーピー』とアラーム音が鳴り始め、報知インジケータが点滅します。子機の呼出コールも約10秒後に止まります。



メモ

- 呼出コールは途中で解除できません。

ID消去操作

故障などコールボタン2を使用しない場合は下記の手順でIDを消去することができます。
ID消去方法には、コールボタン2のID全消去、防犯用拡張専用別売品のID全消去、防災用拡張専用別売品のID全消去と、子機を除く全専用別売品のID一括消去の4種類の消去方法があります。

メモ

- コールボタン2を複数ID登録している場合、その中の1つだけをID消去することはできません。

ID消去方法

- ① 本体からACアダプターを外す
- ② 本体右側面(フタ内一番下のスイッチ穴)のID登録スイッチを、つまようじなど先の細いもので押し
ながら、ACアダプターをDCジャックに差し込む
本体の報知インジケータが1秒間隔で点滅して、ID登録モードになります。

- ③ [警戒]ボタンを押し、報知インジケータのみを点滅させる
「警戒ボタン」を押すごとにインジケータが切り替わり点滅します。

報知インジケータ → 防犯インジケータ → 防災インジケータ →
すべてのインジケータ(報知インジケータ、防犯、防災) → 報知インジケータ → …
(選択した機器のインジケータが点滅します。)

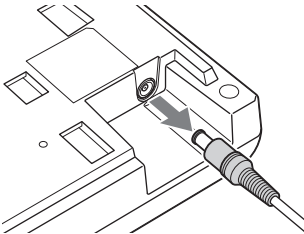
報知インジケータ	登録されているコールボタン2の全ID登録を消去
防犯インジケータ	登録されている防犯用拡張専用別売品の全ID登録を消去
防災インジケータ	登録されている防災用拡張専用別売品の全ID登録を消去
全インジケータ (報知インジケータ、防犯インジケータ、 防災インジケータ)	本体に登録されているすべてのIDを消去

- ④ 本体側面のID登録スイッチを5秒以上押し続ける
コールボタン2のIDが消去され、報知インジケータが2秒点灯します。
- ⑤ 作業完了後、本体からACアダプターを外し、電源をOFFにする
- ⑥ 再度、ACアダプターを接続する
Takusu-V Plus本体より『ピー』音が鳴り、通常の使用状態に戻ります。

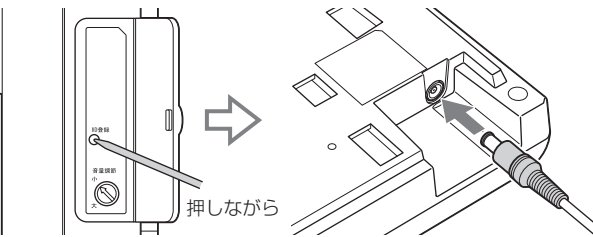
子機(専用別売品)を追加する

ご使用される子機を、Takusu-V Plus本体に認識させるため、IDの登録を行う必要があります。次の手順で登録を行ってください。
*子機は合計10台まで登録できます。

- ① 子機からACアダプターを外す



- ② 子機右側面(フタ内)のID登録スイッチを、つまようじなど先の細いもので押し
ながらACアダプターをDCジャックに差し込む
子機の報知インジケータが点滅して、ID登録モードになります。



- ③ 本体の右側面(フタ内一番下のスイッチ穴)のID登録スイッチを、つまようじなど先の細いもので押し続ける
子機、本体ともに、報知インジケータが1秒間点灯し、点滅します。

以上の操作でID登録は終了です。
子機は自動的に通常状態に戻ります。お使いになられる場所に置いてください。

メモ

- 子機のID登録の操作は、本体の2m以内で行ってください。
- 複数の場所で同時に子機のID登録を行うと、混信して誤った登録となることがあります。複数の登録を同時に行わないでください。

子機は、電源接続時(ACアダプター接続時)の報知インジケータの点滅状態でID登録状態が確認できます。

- ID未登録状態(工場出荷時の状態)
Takusu-V Plus本体の報知インジケータが、1秒点灯後、2秒消灯を繰り返します。
- ID登録済み状態
報知インジケータが1.5秒間点灯します。

子機の音声ガイダンスと変更方法

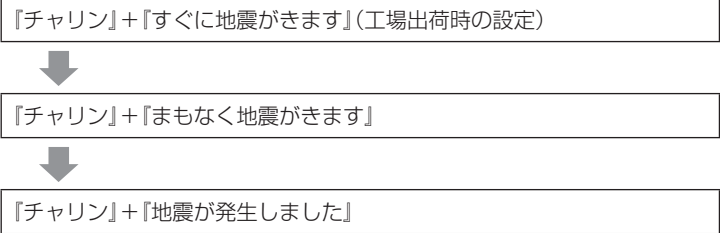
次の方法で子機の音声ガイダンスは内容を変更することができます。
なお、子機の音声ガイダンスは、固定ガイダンスとなり地震到達予想時間によって変化することはありません。

通常に使用できる状態（ID登録モードではない状態）で、子機側面のID登録スイッチを、つまようじなど先の細いもので押す

ID登録スイッチを押すごとに、選択した音声ガイダンスの内容が1回アナウンスされます。

音声ガイダンスは下表のように切り替わります。

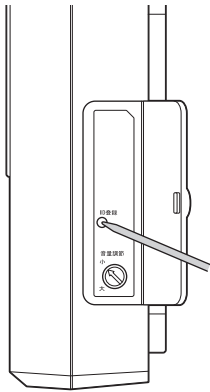
●Takusu-V Plus 子機の音声ガイダンス



•『ピッ』と鳴るまで押し続けると、工場出荷時の設定になります。

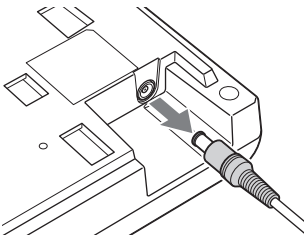
メモ

• 音声ガイダンス変更後は、変更した内容のガイダンスのみ発声します。



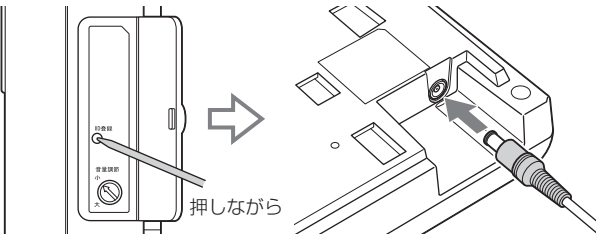
子機のID登録を消去する

① ID登録を消去する子機からACアダプターを外す



② 子機右側面(フタ内)のID登録スイッチを、つまようじなど先の細いもので押しながらACアダプターをDCジャックに差し込む

子機の報知インジケータが点滅して、ID登録モードになります。



③ 一度ID登録スイッチを離し、再度つまようじなど先の細いもので5秒以上押し続ける
IDが消去され、報知インジケータが1秒間点灯し、点滅します。

④ ID登録スイッチを離す
ID登録モードに戻ります。

⑤ ACアダプターを外して一度電源を切ってから、再度ACアダプターを接続して電源を入れる

ルータを設定する

Takusu-V Plusをルータに接続しても定時通信確認音や緊急地震速報を受信できない場合は、以下のようにルータを設定する必要があります。

● 詳しくは、使用しているルータの取扱説明書をご覧ください。

メモ

- UPnP対応ルータをご使用になっても、ルータの仕様により、緊急地震速報を受信できないことがあります。
- ルータを2台以上使用している場合は、インターネットに直接接続しているルータにTakusu-V Plus本体を接続してください。
- 詳しくは、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー コールセンターまでお問い合わせください。

■UPnP機能を利用できないルータを使用する場合

① Takusu-V Plus本体へ割り当てるIPアドレスを固定する

はじめに、Takusu-V Plus本体に割り当てるIPアドレスを決めて、必ず固定のIPアドレスが割り当てられる設定を行ってください。

一般的には、ルータでは接続端末に対して、IPアドレスを自動的に割り当てるDHCPサービスが有効になっています。

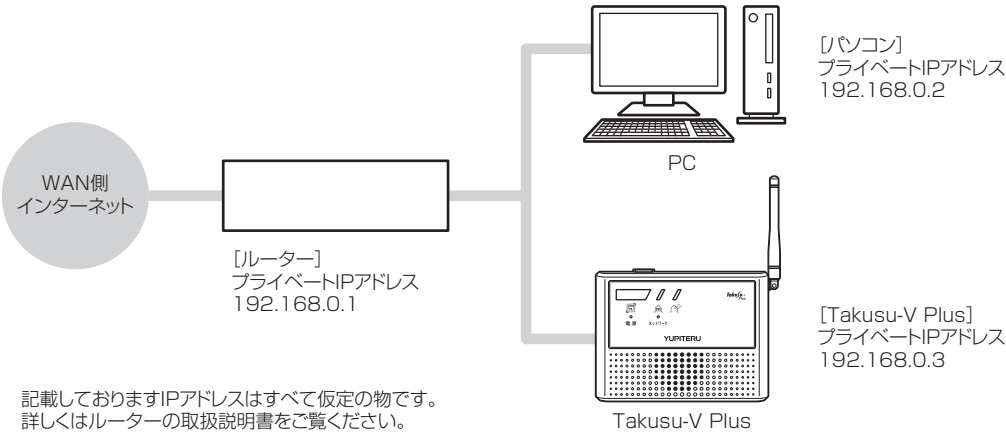
ご使用中のルータでTakusu-V Plus本体のMACアドレスに特定のIPアドレスを割り当てる設定を行います。Takusu-V Plus本体背面にMACアドレス(00-1 A -CE- * * - * * - * *)が記載されていますので、IPアドレスを振り分けてください。

- * MACアドレス……ネットワーク機器が持っている固有のハードウェア番号
- * ルータにより設定がない場合があります。

② Takusu-V Plus本体へポートフォワードを設定する

ルータのWAN側に届くパケット(信号)を、Takusu-V Plus本体に転送する設定を行ってください。

ルータのWAN側IPアドレスのUDPプロトコル30005ポートに届くパケットを、ルータのLAN側から、接続されたTakusu-V Plus本体のIPアドレスのUDPプロトコル30005ポートに転送するよう設定してください。



記載しておりますIPアドレスはすべて仮定の物です。
詳しくはルータの取扱説明書をご覧ください。

ルータによっては、ポートフォワーディング機能を「アドレス変換」「静的IPマスカレード」「バーチャルサーバ」「仮想サーバ」または「ポートマッピング」と呼んでいる製品もあります。

仕様

●本体 TY-TVPL-10

項目		定格
電源電圧		DC12V ACアダプター使用(AC90V～132V、47Hz～63Hz入力)
ネットワーク接続端子		RJ-45型8極コネクタ
通信ネットワーク規格		IEEE802.3準拠(10BASE-T)
動作保証温度範囲		0℃～+50℃
外形寸法		125mm(高さ)×168mm(幅)×40mm(奥行)(アンテナ、突起部を除く)
重量		400g
無線部	周波数	426MHz帯
	受信方式	ダブルコンバージョン方式
アンテナ		ヘリカルアンテナ

●コールボタン2（専用別売品） TY-TVBP2-YP

項目		定格
電源電圧		DC3V(CR2032×2個使用)
動作保証温度範囲		0℃～+50℃
外形寸法		73mm(高さ)×34mm(幅)×14mm(奥行)(突起部を除く)
重量		22g(電池含む)
アンテナ		内蔵ヘリカルアンテナ
バッテリーライフ		1年以上(1日10回、緊急または呼出操作を行った条件時)

●子機（専用別売品） TY-TVPL-1

項目		定格
電源電圧		DC12V ACアダプター使用(AC90V～132V、47Hz～63Hz入力)
動作保証温度範囲		0℃～+50℃
外形寸法		125mm(高さ)×168mm(幅)×40mm(奥行)(アンテナ、突起部を除く)
重量		355g

●適合規格等

	無線規格 (RCRSTD-30)	LAN規格 (IEEE802.3)
本体	適合	適合
コールボタン2	適合	—
子機	—	—

※ ROHS(特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令)準拠。
※ 電気通信端末機器の技術基準認定取得。
(社)電子情報技術産業協会(JEITA)「緊急地震速報利用端末装置の基準に関するガイドライン」準拠

注意事項

●電源遮断時(瞬断時)の動作
停電から復帰したときは、自動的に待ち受け状態になります。(IDなどは記憶されていますので、再設定は不要です)
ただし、ルータなど常時接続インターネット機器が電源断から復帰した場合、機器によっては再起動が必要な場合があります。詳しくは、各機器の取扱説明書をお読みください。

状 況	推定原因	対 処
本体		
ネットワーク接続状態インジケータが点灯しない。 2秒周期に点滅する。	ネットワークが正常に動作していません。	ルータ等のネットワーク機器、インターネット回線の確認を行ってください。
ネットワーク接続状態インジケータが点灯しない。 1秒周期に点滅する。	サーバの信号がTakusu-V Plus 本体に届いていません。	ルータのUPnPの設定をご確認ください。
電源インジケータが消えている。	付属のACアダプターが抜けている。	本体のDCジャックにACアダプターをしっかりと接続してください。
	付属のACアダプターのプラグがコンセントから抜けている。	コンセントに接続してください。
定時通信確認音が鳴らない。	付属のACアダプターが抜けている。	本体のDCジャックにACアダプターをしっかりと接続してください。
	本体側、ルータ側のLANケーブルが抜けている。またはしっかり接続されていない。	それぞれのジャックに『カチッ』と音がするまで、差し込んでください。 ※接続が正常な場合、ネットワーク接続状態インジケータが緑色に点灯します。
	ご加入のインターネットプロバイダでの機器メンテナンスや障害など。	接続されているインターネットプロバイダへお問い合わせください。
	上記以外。	株式会社トータル・ライフサービス コミュニティ コールセンターへお問い合わせください。
避難訓練機能の音声ガイダンスの音が小さい。(大きい)	本体の音量調整ボリュームが小(大)になっている。	音量を調整してください。(音量調整にはマイナスドライバーが必要です)
子 機		
電源インジケータが消えている。	付属のACアダプターが抜けている。	本体のDCジャックにACアダプターをしっかりと接続してください。
	付属のACアダプターのプラグがコンセントから抜けている。	コンセントに接続してください。
緊急地震速報の音声ガイダンスが聞こえない。(子機の報知インジケータが点滅する場合)	音量が小さくなっている。	子機右側面の音量調整ボリュームを右に回して調整してください。(音量調整にはマイナスドライバーが必要です)
緊急地震速報の音声ガイダンスが聞こえない。(子機の報知インジケータが点滅しない場合)	本体にIDが登録されていない。	子機のID登録を行ってください。(☛23ページ)

状 況	推定原因	対 処
子 機		
本体から発声される緊急地震速報の音声ガイダンスの内容と、子機から発声される音声ガイダンスの内容が違う。	本体は緊急地震速報の信号を受信した場合、S波(☛10ページ)が到達するまでの時間によって音声ガイダンスの内容を変えています。子機は本体から信号を受信すると、1種類の音声ガイダンスしか発声しません。(☛24ページ) ※ただし、音声ガイダンスの種類は変更できます。	通常動作モード時(ID登録モードではない状態)で、ID登録スイッチを押す(短押し、2秒未満)することにより地震警報の音声ガイダンスの種類が切り替えられ、また同時に選択された音声合成音が1回鳴動します。(設定した音声合成音の種類は、電源を切っても保持されます) また、ID登録スイッチを2秒以上押し続けると、音声ガイダンスの種類は、工場出荷時の状態の音声ガイダンスが設定され、同時に電子音鳴動後に工場出荷時の状態の音声ガイダンスが1回鳴動します。 ※選択可能な地震速報の音声合成音 ・『チャリン すぐに地震がきます。』(工場出荷時の設定) ・『チャリン まもなく地震がきます。』 ・『チャリン 地震が発生しました。』
コールボタン2		
ボタンを押しても、何も反応しない。	正しく電池がセットされていない。またはローバッテリーの場合があります。	「コールボタン2の電池について」(☛19ページ)をご覧ください。
コールボタン2の[緊急] ボタンを押して『ピッピ』と電子音が鳴るのに、本体が反応しない。	コールボタン2がID登録されていない。	ID登録を行ってください。(☛18ページ)
	本体の電源が入っていない。	本体のDCジャックにACアダプターをしっかりと接続してください。
ボタンを押しても緊急メールが送信されない。	本体側、ルータ側のLANケーブルが抜けている。またはしっかり接続されていない。	それぞれのジャックに『カチッ』と音がするまで、差し込んでください。 ※接続が正常な場合、ネットワーク接続状態インジケータが緑色に点灯します。
	ルータなどのインターネット機器が停止している。	各機器の取扱説明書をご覧ください。
	インターネットに障害が起きている。	パソコンでインターネットに接続できるかを確認してください。接続できない場合は、インターネットプロバイダにお問い合わせください。
	上記以外。	株式会社トータル・ライフサービス コミュニティ コールセンターへお問い合わせください。

ご使用に関するQ&A

Q (質問)	A (回答)
緊急地震速報は、直下型の地震のときも大丈夫なのですか？	間に合わない場合があります。 (「緊急地震速報とは」➡10ページ)
インターネット常時接続の環境であれば接続可能とありますが、ルータの機種は何でも接続可能ですか？	UPnP機能に対応しているルータであることが必要です。(機種によっては、ご使用になれない場合があります)
ダイヤルアップ接続の環境で接続できますか？	使用できません。 (常時接続でないと、通報できません)
誤った緊急地震速報の情報が配信される場合がありますか？また配信されない場合もありますか？	あります。 震度計の誤動作やインターネット網の通信障害などに起因する誤配信、未配信といった現象が起こる場合があります。
本体と子機、またはコールボタン2は、宅内で無線通信を行っているようですが、お隣が同じシステムをお使いの場合、無線電波が混信する恐れはありませんか？	ありません。 機器それぞれに固有のIDで区別しておりますので、宅内の機器同士のID登録が正確に行われていると、混信の恐れはありません。
コールボタン2の[緊急]ボタンを押して、本体が反応動作をしている途中で緊急地震速報を受信すると、どうなりますか？	コールボタン2の反応動作の警報音と同時に、緊急地震速報ガイダンスを流します。
緊急地震速報のガイダンスを聞いて、食卓ケーブルの下に隠れようとしたとき、慌ててケガをしました。この場合の補償は？	一切の補償はできません。 緊急地震速報の特性を十分ご理解のうえ、ご使用ください。また、速報が流れた際の行動については、常日頃からご家族の方などと、十分にお話し合ってください。
UPnPに対応していないルータを使用する場合は、どうすればよいですか？	ルータの設定を行う場合、機器またはインターネットプロバイダによっては接続できない場合があります。(「ルータを設定する」➡26ページ)
引越しによる住所変更やメールのアドレス変更など、登録内容の変更をしたい場合、どうすればよいですか？	株式会社トータル・ライフサービスコミュニティコールセンターへお問い合わせください。

緊急地震速報についてのお問い合わせ

● 電話(FAX)によるお問い合わせ

株式会社トータル・ライフサービスコミュニティ
TEL. (0120)654-667 FAX. (0120)654-668
受付時間：平日(月～金) 9：00～18：00
土日祝・年末年始・夏期休暇は除く

● Eメールによるお問い合わせ

takusu@totallife.co.jp

免責事項

- 緊急地震速報の特性・限界として、
 - 震源・マグニチュード・震度の推定に誤差があること。
 - 観測点の環境により誤報が発信されることがあること。
 - 震源直上等、情報の提供が主要動の到達に間に合わないことがあること。
- 通信インフラの障害メンテナンス等で情報の発信ができないことがあること。
- 緊急地震速報は地震災害の防止・軽減に資することを目的として配信されますが、これを受信したことにより発生する事故等の損害を保証するものではなく、あくまでも受信される個人の責任で対処されるもので、気象庁ならびにこれに関連する企業等は一切の保証等に応じないこと。

緊急地震速報利用申込兼登録用紙(個別契約書)ご記入例

※太枠は必須項目です。尚、次ページご署名の欄に捺印のないものは無効とさせていただきます。

●装 置 情 報：製品名 Takusu-V Plus 本体											
装置 ID 番号		S/No. : ×××××××× 装置 ID : ×××××××× MAC : ××××××××			コールボタン (個数をお書き下さい。)			1 個			
●お客様情報											
登 録 者 名		トータル 太郎									
住 所 (連 絡 先)		〒530- 0122 大阪市北区梅田〇丁目××番地 〇〇マンション〇〇〇号室									
自 宅 の 電 話 番 号		06-6341-××××			FAX 番号		06-6341-××××				
携 帯 電 話 番 号		080-××××-××××			メールアドレス		Total_taro@totalxx.co.jp				
●Takusu-V Plus 本体 を設置される場所											
設置住所 (連絡先) (お客様情報に記載された住所と同じ場合は御省略)		〒100- 0041 東京都千代田区神田〇丁目××番地 △△マンション×××号室 (住所を緯度・経度に変換して設置場所データとします)									
設置場所の 通信環境		① ご契約中のプロバイダー名：〇〇* * ② ご使用中の通信回線 (光ファイバー・ADSL・CATV) ③ ご使用中のルータ (メーカー名：* * * * *) (型式： ABC-1234H) 推奨ルータ (ホームページ参照) をご使用下さい。ご使用中のルータの LAN 接続端子は 1 つ以上の空きが必要です。									
建 物 種 別		☒ ：戸建 ☐ ：マンション等集合住宅 ☐ ：ビル ☐ ：他 ()									
平日 9:00～18:00 のご連絡先	電話番号	03-5296-××××			FAX 番号		03-5296-△△△△				
	携帯電話番号	080-××××-××××			メールアドレス		total_tokyo@totalxx.co.jp				
●定時通信確認音のご希望送信時刻 (24 時間表示の毎正時でご記入ください。) ※取扱説明書参照											
1 8 時											
●緊急コールサービスお申込(別途有料)の場合の送信先メールアドレス (最大 5 件まで登録可能)											
メールアドレス①		watashi@*****.ne.jp									
メールアドレス②		chichi@*****.ne.jp									
メールアドレス③		haha@*****.ne.jp									
メールアドレス④		sofu@*****.ne.jp									
メールアドレス⑤		sobo@*****.ne.jp									
●緊急コールサービス利用時の送信文 (全角 2 0 文字以内。句読点は登録可能、絵文字は登録できません。)											
自 宅 ま で 連 絡 下 さ い 。											
● 緊急地震速報通報サービスの報知震度申請 (個別契約)											
地 震 階 級		☐ ：震度 2 ☒ ：震度 3 ☐ ：震度 5 弱以上の震度設定を申請 (個別契約) いたします。 (震度を低く設定いたしますと誤差が大きくなる可能性があります。また速報報知が頻繁に行われることとなります。)									

●お申込のサービス	
☒ 緊急地震速報 ☒ 緊急コール ※メール配信サービス	
●訓練報の受信	
☐ 受信を希望する ※訓練報の実施日時は株式会社トータル・ライフサービスコミュニティーよりお客様に連絡させていただきます。	
●免 責 事 項	
(別紙) ご利用規約 (第 1 5 条) 記載事項による。(ご利用規約をご参照下さい。)	
●本サービスの特性	
(別紙) ご利用規約 (第 3 条) 記載事項による。(ご利用規約をご参照下さい。)	
●本サービスの提供の中断	
(別紙) ご利用規約 (第 1 2 条) 記載事項による。(ご利用規約をご参照下さい。)	
●お問合せ先	
電 話 に よ る お 問 合 せ	株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー TEL 0120- 654- 667 FAX 0120- 654- 668 受付時間：平日 (月～金) 9:00～18:00 土日祝・年末年始・夏期休暇は除く
E メールによるお問合せ	takusu@totallife.co.jp
株式会社トータル・ライフサービスコミュニティー宛	
私は上記の免責事項と気象庁・高度利用者向け緊急地震速報通報サービスの情報提供に関する確認事項 (別紙) 及びご利用規約 (別紙) を理解し、配信状態によって生じるいかなる損害に対しても貴社ならびに関連企業 (製造・販売企業) が免責されることに同意した上で、このサービスの利用を申込いたします。 平成 20 年 1 月 △日 (ご署名) 氏 名 トータル 太郎 ㊞	

ご提供いただきました個人情報は、弊社「個人情報保護方針」に基づいて取り扱いをいたします。
詳しくは、株式会社トータル・ライフサービスコミュニティーのホームページに掲載しております。
「個人情報保護方針」をご覧ください。

<http://www.totallife.co.jp/privacy/index.html>

●緊急地震速報や緊急コールサービスについて（ご利用申込や登録内容の変更も含む）
お引っ越しなどによるお申込内容の変更についてのお問い合わせ

株式会社トータル・ライフサービスコミュニティ コールセンター
TEL. (0120)654-667 FAX. (0120)654-668

受付時間 平日 9：00～18：00 土日祝、年末年始、夏期休暇は除く

●製品の取扱や動作、修理についてのお問い合わせ

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10：00～18：00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

株式会社 YUPITERU お客様ご相談センター TEL. (0564)45-5599

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：30 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

地 区	YUPITERU 各営業所・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
あらかじめご了承ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
（ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
（ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
（ヘ）本書のご提示がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

○保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

故障内容記入欄

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※ 弊社営業所・サービス部は本書「ご相談窓口一覧」をご覧ください。